

**「見えない補聴器」の先駆者であるスターキーが
“世界最小”オーダーメイド補聴器
「IIC シリーズ」を新発売**

日本全国に向けて補聴器製造・販売を行うスターキージャパン株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役:高木日出夫、以下スターキー)は2015年8月10日(月)、補聴器のIICカテゴリ市場に向けて、“世界最小”※1のIIC補聴器「オトレンズ2」と、日本独創のIIC補聴器として「ビーンズIIC」を合わせて全国のスターキー補聴器取扱店にて発売開始致します。



「IIC」とは「Invisible in the Canal」の略であり、スターキーが2011年、業界に先駆けて「オトレンズ」を発売して以来、補聴器市場に定着した最も新しいオーダーメイド補聴器カテゴリとなります。「オトレンズ」はIICの名の通り「見えない補聴器」として発売より5年間、大変ご好評をいただいております。その実績による技術とデータの蓄積により、この度さらに進化した「IIC シリーズ」として「オトレンズ2」と「ビーンズIIC」を発売致します。

日本補聴器工業会が行った実態調査※2によれば、日本で補聴器装用者のうち難聴度の高い方に比べ、難聴度の低い方は補聴器の装用により、全ての側面で良い影響を認めているにも関わらず、その所有率が著しく低くなっております。装用しない理由のトップ10の中には「装用する事が恥ずかしい」、「わずらわしい」、「騒音下では役に立たない」等が挙げられています。



IIC シリーズ装用写真

IICシリーズは耳の奥、より鼓膜の近くまで入る事により、“見えない(=補聴器装用が周囲にわからない)、こもらない(=装用時の自分の声の違和感が少ない)、疲れない(=補聴器先進国アメリカで徹底したユーザー研究の下で実装された最新の騒音抑制技術搭載)”といった三拍子を具現化しています。本来、補聴器を装用すれば、生活の質に良い影響を与える軽・中等度難聴の方のニーズに応えた製品群となります。

2015年1月、厚生労働省が発表した新オレンジプランに認知症の危険因子として「難聴」が明記されました。「見えない補聴器」の先駆者として、またオーダーメイド補聴器世界販売台数 No.1

の誇りをもって、スターキーは補聴器ユーザーの QOL 向上に寄り添った製品をお届けし、健康寿命の延伸に貢献して参ります。

発売日	2015 年 8 月 10 日(月)
販売チャネル	全国スターキー補聴器取り扱いの補聴器専門店、眼鏡店、百貨店ほか(※3)

(※1)当社比

(※2)出典:「Japan Trak2012」一般社団法人 日本補聴器工業会

(※3)「オトレンズ2」のみ補聴器認定医の管理監督下において

【スターキージャパン会社概要】

会社名:スターキージャパン株式会社

設立:1992 年 1 月

代表取締役:高木日出夫

事業内容:補聴器製造・販売

および関連製品の輸入・販売

URL:<http://www.starkey-japan.co.jp/>



〈スターキーについて〉

スターキーは世界中の人々に「聞こえる喜び」を提供するべく 1967 年の米国ミネソタ州での創業以来、補聴器専門の開発・製造メーカーとして歩んできました。現在は社名をスターキーヒヤリングテクノロジーとして、補聴器の製造・開発はもちろんのこと、「きこえ」に関わる課題への問題解決を行っています。主に世界 120 以上の国と地域で年間 100 万台以上の補聴器を製造・販売しており、中でもオーダーメイド補聴器に関してはその先駆者として、現在も世界で No.1 の販売台数を誇ります。

■スターキージャパン株式会社 マーケティング担当:窪寺

TEL:045-942-7226(代表) FAX:045-942-7315

Email:sj_pr@starkey.com

別紙

<新製品概要>

■「オトレンズ2」概要

オトレンズ2は、世界最小オーダーメイド補聴器の現行オトレンズより 40%サイズダウンしたアンプを採用し、薄型マイクロフォンと電池の配置を限界まで狭めたフェイスプレートを使用することで、更なる小型化に成功しました。また、材質改良によるシェル硬度の強化と、マイクへの異物浸入を防ぐナノコーティング済みの電池ドアを搭載し、日頃のメンテナンスがしやすいよう設計されたのも特徴です。

■「ビーンズ IIC」概要

ビーンズ IIC は、「オトレンズ2」と同じアンプ/マイク/フェイスプレート/電池ドアを使用した日本独自モデルの IIC 補聴器です。オトレンズでは「見えない」事を極限まで追及する為に、特別なガイドライン※1を設けて参りました。これに対してビーンズ IIC はスターキーの IIC 補聴器販売 5 年間にわたる技術鍛錬と蓄積データを元にして、お送りいただくお客様の耳型で可能な最小限のサイズで作成させていただきます。さらに 3 クラス(110,90,70)でのラインナップを揃え、お求め易くもなった“もっと身近な”見えない補聴器となります。

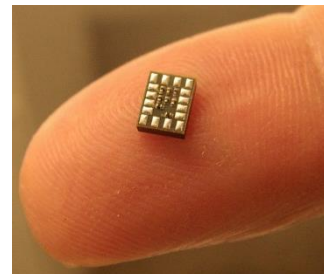
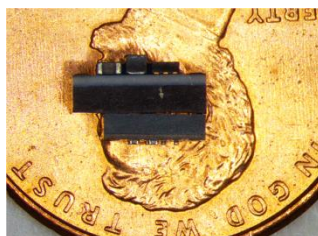
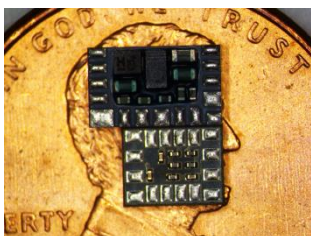
■オトレンズ2/ビーンズ IIC 最大出力/最大利得

器種名	適応聴力	最大音響利得 (ピーク)	90dB 最大出力 音圧レベル(ピーク)	使用電池
オトレンズ2	軽～中	43-48 dB	124dB SPL	PR536(10A)
ビーンズ IIC	軽～中	43-48 dB	124dB SPL	PR536(10A)

(JIS-C-5512-2000 にて表示)

<新製品技術特長>

■さらに“見えない補聴器”を追求できた理由は、製品内部品の極小化にあります。



・サイズは従来アンプの約60%となっています。

・新アンプは米1粒程の大きさです。

※1・・・オトレンズ、オトレンズ2は外耳道奥部に装着する補聴器のため、補聴器相談医の直接管理監督下で供給となります。